１０月

高野長英記念館の草木

秋　到来！！

天高くすがすがしい秋晴れが続く今日このごろ　１０月となりました
記念館周辺では　蝉の鳴き声からコオロギなどの虫の音へと変わり　また葉もちらちらと落ち　秋の装いが感じられます

サザンカ　（撮影９月 24 日）

ナデシコ　(撮影９月 22 日・23 日)

センブリ　(撮影９月 22 日)

＊センブリの名前の由来は、非常に苦く、植物体を煎じて「千回振り出してもまだ苦い」ということから、「千度振り出し(煎じ)」が言い伝えられ、後に略され名付けられたといわれています。由来のとおり、非常に苦みが強く、もっとも苦い生薬(ハーブ)といわれています。古くは殺虫剤として使われていたようです。消化不良、食欲不振、結膜炎用の目薬、育毛剤としても利用されているようです。

長崎でシーボルトの助手となった長英は、その後鳴滝塾から平戸へ居を変え、対馬や釜山へ赴き、薬草調査を行いました。日本、朝鮮半島、中国に分布するセンブリを長英も目に触れていたのでしょうか。